

e-VITA: スマートエイジングを目指す 仮想コーチングシステム

人間拡張研究センター 松本 吉央 生活機能ロボティクス研究チーム 本間 敬子

高齢化社会において、高齢者の在宅生活の維持は重要である。それぞれの高齢者は心身の状況や置かれている環境も異なり、異なるニーズを持っている。そこで健康維持のためには、各自の状況を判断し、個別のアドバイスを行うことが必要である。本プロジェクトでは、日欧の共同研究によりこの課題に取り組んでいる。

本プロジェクトでは、スマートな生活環境を高齢者に提供し、生活のモチベーションを向上するために、外部情報や日常生活環境に埋め込まれたセンサを介して得た情報から、個人の状態を推定し、個人に合わせたアドバイスを提供する仮想コーチングシステムを構築し、実証により有効性を確認することを目指す。対象は、地域の中で自立して健康な生活を送っている高齢者である。こうした元気な高齢者の機能低下を遅らせ、自立生活を延伸することが最終的な目標である。

産総研人間拡張研究センターは、日本側のシステム統合の取りまとめを行うとともに、アンドロイドロボットによるコミュニケーションの可能性について評価を行う。

謝辞 本研究開発は総務省SCOPE（国際標準獲得型）JPJ000595の委託を受けたものです。

URL <https://www.e-vita.coach/>

